

ホームページ用情報公開文書

研究課題：発声発語器官の器質的疾患による言語障害についての研究

1. 研究の目的

口唇口蓋裂や舌小帯短縮症、巨舌症など、発声発語器官における器質的疾患は、構音障害や鼻咽腔閉鎖機能不全など、言語障害の原因となります。そのため、適切な治療方針の検証には言葉の状態（発音など）の評価が必要となります。

本研究では、当センターを受診する発声発語器官に器質的疾患を有する患者様に対して言語評価を実施し、得られた言語成績を検討することで、今後の治療の一助とすることを目的とします。また、必要に応じてリハビリテーションを実施して、その有効性を検証します。

2. 研究の方法

発声発語器官に器質的障害を有する患者様に対し、言語検査、発達検査、知能検査を実施します。また、必要に応じてリハビリテーションを実施します。得られた結果および経過をもとに、以下について検討します。

- 1) 外科的治療の有無と言語成績の関連について
- 2) 外科的治療の方法と言語成績の関連について
- 3) 外科的治療の時期と言語成績の関連について
- 4) 1)～3)と発達、知能検査結果の関連について
- 5) リハビリテーションの有効性について

3. 研究期間

4. 研究に用いる資料・情報の種類

言語検査、発達検査、知能検査の結果
リハビリテーションの経過

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

関連学会での演題発表および論文発表

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 保健発達部 技師 石田隼一郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）